

## R8 年度 学習の手引き(シラバス)

3	学年	教科・科目	教養基礎・教養基礎(森・イ)	単位数	1	担当者	丸山・植原
---	----	-------	----------------	-----	---	-----	-------

### 1、教科書・副教材

一般常識 チェック&トライ (実務教育出版)
------------------------

### 2、科目の目標

生徒が社会人になるに際し、最低限必要となる英語力、国語力並びに数的処理能力等を中心とする一般的教養を身に付ける。
--

### 3、学習の計画

	月	学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月	一般常識 チェック&トライ パート1	国語・数学・英語・社会・理科および一般常識について、「要点チェック」と「実践演習」をとし、知識の定着を図る。  進学および就職試験に向け、 ①作文や小論文の書き方を学び、 ②書くための材料を集め ③実際に書く  尚、必要に応じ志望理由書や履歴書の書き方、面接の所作等についても、指導、練習をしていく。	15	期末考査
	5月	同上			
	6月	同上 パート1まとめ パート2			
	7月	小論文・面接指導			
	8月	同上			
後期	9月	同上	14	期末考査	
	10月	一般常識 チェック&トライ パート2			
	11月	同上 パート2まとめ パート3			
	12月	同上 パート3			
	1月	同上 パート3まとめ			

### 4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	一般常識の知識技能を身に着けている。 基本的な文章作成ができる。	課題レポート・作文の作成 定期考査
思考・判断・表現	課題に対して丁寧に取り組んでいるか。 (漢字・計算・一般教養)	課題レポート・作文の内容
主体的に学習に取り組む態度	遅刻欠席なく、期限を守り取り組むことができるか	出欠席、提出物、授業態度及び取り組み

### 5、学習にあたっての注意とアドバイス

教養基礎では、これまで学んだ国数英社理の基礎学力の振り返りや時事問題含む一般常識に至るまで幅広く学びます。この学びは進路の試験対応のみならず、今後あらゆる場面で問われる社会人としての常識を補う意味で役に立ちます。また小論文や作文を書くための練習、面接対策も行います。自分の意見や考えを簡潔かつ論理的に相手に伝える力も養える内容となっております。テキストを中心に提出も課します。意欲的に取り組むことを望みます。
--